

# 北横岳～三ツ岳山行報告

【山行日】2020年10月11(日) 曇り

【集 合】岩舟支所P AM 5:30

【費 用】マイカー1台 : 5,100円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、嶋田、島田、  
関、福島、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P5:30＝北八 RW 山麓駅  
7:55/8:20+++山頂駅 8:30/8:40～北横岳ヒュッ  
テ 9:40/9:50～北横岳 10:00/10:10～北横岳ヒ  
ュッテ 10:20/10:30～三ツ岳Ⅲ峰 11:50/12:30～  
雨池山 13:00～雨池峠 13:30～坪庭 13:45～  
山頂駅 14:00/14:20+++山麓駅 14:30/14:45＝岩舟支所 P17:40

今週は尾瀬の温泉小屋に泊って、燧ヶ岳から燧裏林道を周遊で歩く予定だったが、台風14号の影響で中止を余儀なくされた。土曜日は1日雨の予報だが、日曜日は天気が回復する予報なので、



天気が比較的良好な北八の北横岳を計画した。

北横岳には雪山で数回登っているが、その時に三ツ岳への道が気になっていたのも、三ツ岳経由で縞枯山に登る計画を立てた。上信越道は天気が良かったが、長野県側に入ると暗い空になり小雨が降ってきた。しかし、女神湖あたりから晴れ間が見え、天気予報通り晴れてくると信じて走る。ロープウェイ山麓駅に着くと良い天気で、皆さんも天気が回復すると信じていたと思う。

駐車場に早く到着し、ロープウェイも予定より早く

運行したので30分早く出発出来た。出発時は霧雨で視界も無く、真っ白い坪庭を黙々と歩いて行く。

北横岳への登りになると、シラビソの樹林帯を登るようになり霧雨も感じなくなる。急坂をゆっくり登り、三ツ岳への道を右に分けて直進すると間もなく北横岳ヒュッテに着く。小休止し果物やクッキーを

食べてエネルギーを補給する。ここから急登を10分程頑張ると、北横岳南峰に着く。

晴れていれば北に蓼科山、南には八ヶ岳の主峰赤岳への峰々が見渡せるが、あいにくのガスで何も見えなかった。雲間から太陽が薄く見えるので、晴れるのを期待して待つが晴れることは無かった。諦めて下山し、来た道に戻って北横岳ヒュッテでトイレ休憩する。トイレを済ませたら三ツ岳分岐まで戻り、分岐を左に進んで三ツ岳に向かう。大きな岩が重なり合う登山道になり歩きにくくなる。



岩場が広くなると登山道が不明瞭で、ルートファインディングが必要になり先頭は苦労していた。



大きな岩が聳えているピークが三ッ岳第三峰で、ペンキマークと鎖を頼りに登って行く。第三峰を過ぎると進む方向が解りにくく、中々進まなくなる。我輩が先頭に代わり、岩に付いた足跡をたどってトントンと行くが後ろが付いてこない。それほど難しい岩ではなく、バランスよく歩けば問題ないのだが……。第二峰が一番高く、山頂で記念写真を撮る。さらに岩場は続き、ようやく第一峰着き、時間が掛かったのでここでランチタイムとする。温かいうどんを作り煮物や漬物が並び、とても美味しくいただいた。デザートとお茶をいただいたら、後片付けして出発する。

ここからはSLが先頭を歩くが、まだまだ岩場の急降下で時間が掛かる。

鞍部まで下ると岩が少なく歩き易いが、登りになるのでペースは上がらない。ようやく雨池山山頂に出

て、ここからは縞枯れの樹林帯を下るようになる。下り切った所が雨池峠で、広く平坦な場所で十字路になっている。計画では直進して縞枯山に登

って五辻に下る予定だが、三ッ岳の通過に時間が掛かりお疲れの様子なので、ロープウェイ山頂駅に戻ることにする。峠の十字路を右に進み、八丁平に建つ縞枯山荘前を通りロープウェイ駅に向かう。このあたりから晴れて来て、途中から右に登り坪庭を通って行くことにする。坪庭に出ると雨池山から北横岳の稜線が見え、下りで見えた縞枯模様が綺麗に見える。反対側の縞枯山も山頂まで見え、北八の景色を十分堪能することが出来た。



途中の展望所で眺望を十分に楽しんだら山頂駅に向かう。駅に着いたらトイレを済ませ、ロープウェイで山麓駅に下る。ロープウェイからの紅葉が素晴らしく、赤や黄色に色づいた木々に魅了される。靴を履き替えたなら車に乗り、帰路につく。いつものように道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄り、野菜やお花をゲットする。佐久南 IC から中部横断道に入り、上信越度も順調に走り予定より早く岩舟支所に帰着した。

反対側の縞枯山も山頂まで見え、北八の景色を十分堪能することが出来た。途中の展望所で眺望を十分に楽しんだら山頂駅に向かう。駅に着いたらトイレを済ませ、ロープウェイで山麓駅に下る。ロープウェイからの紅葉が素晴らしく、赤や黄色に色づいた木々に魅了される。靴を履き替えたなら車に乗り、帰路につく。いつものように道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄り、野菜やお花をゲットする。佐久南 IC から中部横断道に入り、上信越度も順調に走り予定より早く岩舟支所に帰着した。